



「自慢の故郷。これからも元気な帯広・十勝を側面的ながら支援していきたい」と語る。

開発・製造に結び付く提案を 佐藤有一さん(56)

1959年帯広市生まれ。帯広東小、白糠中、帯広三条高、東京都立大(現首都大学東京)工学部工業化学科卒業。ライオンを経て十勝毎日新聞社で勤務し、92年の「十勝・緑の地球博—みどりいむ'92」では力ナダ・アルバータ州の博物館まで赴き恐竜化石の展示を成功させた。かちまいホームセンターでもミニ宅地開発に携わった。

現在は、環状オリゴ糖(シクロデキストリン)を使用した健康食品開発などを手掛けるシクロケムバイオ(東京)の取締役企画開発部長。

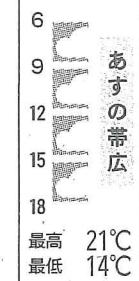
トウモロコシ由来のナノテク原料で大手食品・飲料・製菓・紙おむつメーカーなどに、一步進んだ新商品開発を提案している。

「十勝に工場がある企業ともさまざまなテーマで仕事をしているが、今後ますます長く親しまれる良い商品の開発・製造に結び付く提案を積極的にしていきたい」と話す。



9月8日 火曜日

2015年(平成27年)



発行所:十勝毎日新聞社
〒080-8688 帯広市東1条南8丁目
編集:0155-22-2121 広告:0155-23-2323
販売:0155-24-2222 事業:0155-22-7555
購読:0120-25-3999